

# プラウドタワー亀戸クロス

No. 22-017-2023作成  
新築  
集合住宅/その他

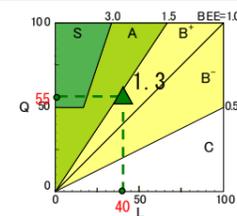
発注者	野村不動産株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	前田建設工業株式会社一級建築士事務所	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	前田建設工業株式会社 東京建築支店	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

## ZEH基準をクリアした住戸全体をコントロールする空調システム



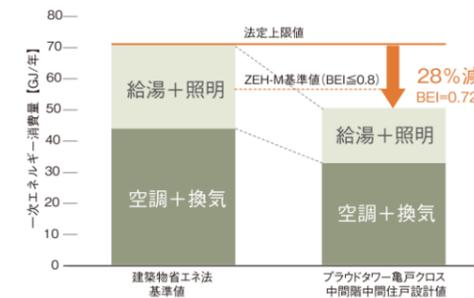
934戸の住戸のうち、ファミリータイプ770戸には弊社開発技術「床チャンバー空調システム（当物件での名称：床快full）」を採用した。天井内に設置したエアコンからダクトを介して二重床空間（床チャンバー）に給気し、各室に設置された床吹き出し口から吹き出すシステムで、建築物省エネ法の基準値に比べ、ゲートタワーでは21%、ブライトタワーでは31%のエネルギー消費量の削減を達成した。住戸全体を冷暖房・換気する住戸セントラル型の技術的特徴によって部屋ごとの空調に必要な扉は不要となり（扉の設置は選択可）、それにより実現する開放的な空間は24時間365日一定の温度に保たれる。室内空間の上下間の温度のムラも少なく、部屋を移動しても温度に大きな変化が生じないため、高い快適性を生み出す。

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価
所在地	東京都江東区	B+ランク
竣工年	2022年	BEE=1.3
敷地面積	22,989㎡（商業施設含む）	2008年度版
延床面積	ゲートタワー：41,729㎡ ブライトタワー：54,047㎡	第三者認証
構造	RC造、一部S造	
階数	地下2階、地上25階	

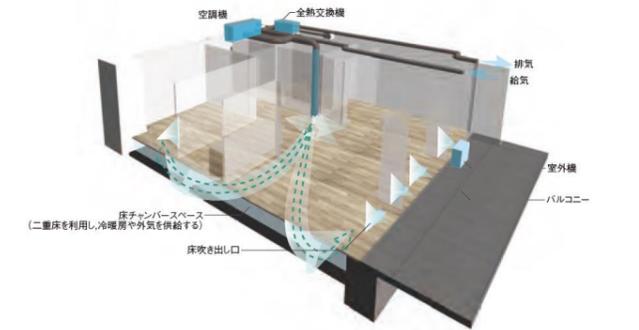


## 開放的な住戸を目指して

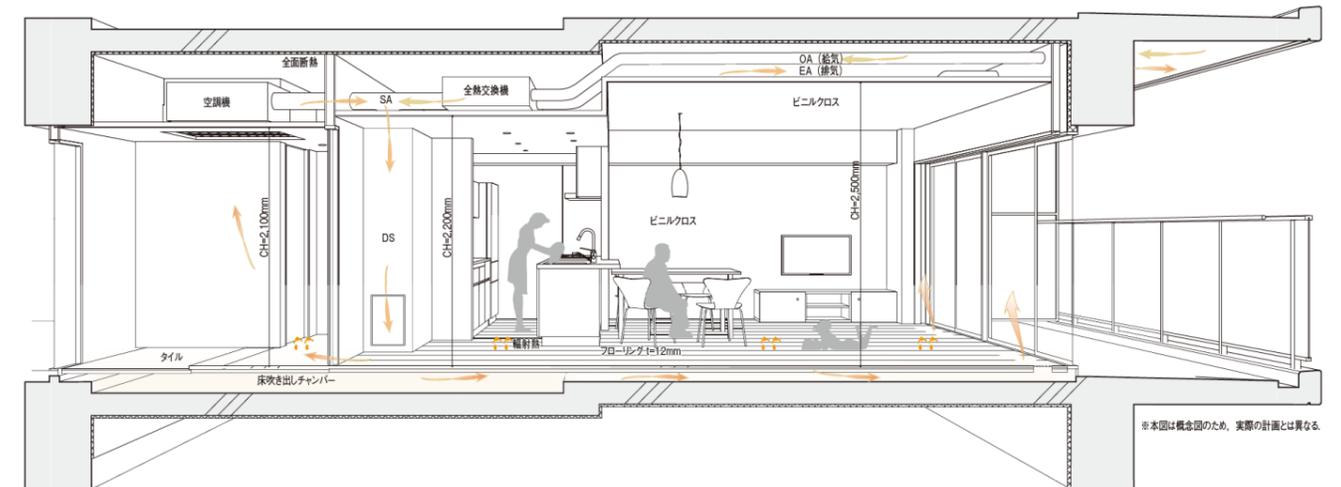
住戸内観。床下に空調を吹き出す「床チャンバー空調システム」を導入することで、住戸全体を効率的に空調する。また室内の壁掛けエアコンが不要となったり室外機の設置台数を減らすことができるため、サッシ幅を拡張し、開放的な空間を実現した。



一次エネルギー消費量の比較



床チャンバー空調システムアクトメ



## 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

LR1.2. 「自然エネルギー利用（床チャンバー空調システム）」